

基本政策 2 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援

柱5 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

(1) 地域社会の子育て力を高める

地域全体で子育てを支援するため、地域と子育て家庭とのつながりを深め、地域での子育て拠点を整備し、身近な場所で交流や相談ができるよう環境を整えていきます。

〔評価指標〕 家族で地域行事に参加していると答えた保護者の割合の向上

平成30年度 64.3 % → 令和6年度 68 %

「岡山市教育に関する総合調査」

NO. 73 (5-1-1)

事業名	心豊かな岡山っ子応援団			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	「こんにちは赤ちゃん事業」で、愛育委員が乳幼児のいる家庭を訪問する際に渡す絵本を、「心豊かな岡山っ子応援団」が寄附金等で購入し、家庭、地域、事業者、学校園、行政が一体となって子育て、子育てを応援する。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	寄附額等 2,882 千円 絵本 6,300 冊購入			引き続き、活動内容の周知を通じ、活動に賛同してくれる賛助団員を増やす。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○				

NO. 74 (5-1-2)

事業名		地域子育て支援拠点事業			地域子育て支援課	
事業概要 (目的)		乳幼児（主として概ね 3 歳未満の児童）及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行う。				
内容		実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）	
		27 か所で実施			<ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流の場の提供 ・子育てに関する相談・支援 ・地域の子育て支援情報の提供 ・子育てに関する講座の開催 	
指 標		基準値(平成 30 年度)			目標値（令和 6 年度）	
0～2 歳児の延べ利用者数		68,781 人			73,738 人	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 75 (5-1-3)

事業名		子育て広場			地域子育て支援課	
事業概要 (目的)		地域住民が運営委員会を組織し、幼稚園等を利用して、子育てに関する学・交流の場を開催				
内容		実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）	
		12 か所で開催 利用のべ人数 12,744 人 （内訳）おとな 5,692 人 こども 7,052 人			引き続き実施し、子育てサイトも活用し、活動内容等の周知広報を行う。	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 76 (5-1-4)

事業名	子育て支援「のびのび親子広場」事業				幼保運営課	
事業概要 (目的)	幼稚園・認定こども園において、未就園親子の交流の場を設け、保護者に対して、子育てに関する講座・相談・情報提供等を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施園 67 園 ・実施回数 568 回 ・参加乳幼児数 7,814 人 ・子育て講座・相談回数 788 回 			より多くの未就園親子に参加してもらえるよう周知を図るとともに、実施回数を増やす。		
指 標			基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）	
地域の子育てを支援していく役割を果たしていると感じた園の割合			58%		75%	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 77 (5-1-5)

事業名	おやこクラブの育成				健康づくり課	
事業概要 (目的)	小学校区にほぼ 1 つのおやこクラブを設置して、親と子の健康の保持増進を図るとともに、親子の仲間づくりを行う。 対象：市内に居住する就園前の親子					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	会員数：70 地区、2,297 人			<ul style="list-style-type: none"> ・地区活動（季節の行事、座談会、地域交流など） ・ブロック会長会、交流会 ・理事会 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○			

NO. 78 (5-1-6)

事業名	地域子ども組織の育成			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	地域子ども会を中心とした子ども組織の育成を図るため、必要な指導者の養成並びに少年リーダーの養成を支援する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	①指導者研修会を 6 月に市内 12 会場で開催（291 人参加） ②ジュニアリーダー研修会： 3 月 25 日～30 日（5 泊 6 日） 邑久自然の森キャンプ場（52 人参加） インリーダー研修会： 3 月 26 日～29 日（3 泊 4 日） 岡山市少年自然の家（63 人参加） ③わくわく犬島探険隊：犬島（台風により中止）			岡山市子ども会育成連絡協議会と協力し少年リーダーの育成支援を継続する。 ・指導者研修会 市内 11 会場 ・ジュニアリーダー研修会 秋：1 泊 2 日 年度末：5 泊 6 日 ・インリーダー研修会 年度末：3 泊 4 日 ・わくわく犬島探険隊：犬島 夏：2 泊 3 日		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 79 (5-1-7)

事業名	自然体験活動の促進			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	一般市民や大学生を対象とした自然体験活動に必要な技術や知識について、学習できる機会を設け、子どもたちの自然体験活動を促進させるリーダーを養成する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	①自然体験リーダー養成講座 延べ 10 日間（26 人参加） ②自然体験リーダーの派遣 16 か所（68 人派遣、349 人参加） ③自然体験リーダーズクラブの運営			引き続き、養成講座を通して、必要な技術や知識について学習する機会を設け、リーダーを養成する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

(2) 安全・安心の地域子育て環境の整備

安全で安心な子どもの居場所づくりや地域での見守り、交通安全の推進等子どもが安心して遊べる地域環境づくりを目指します。

NO. 80 (5-2-1)

事業名	プレーパーク普及事業				地域子育て支援課	
事業概要 (目的)	地域の公園等で、子どもたちが自然素材を使って豊かな外遊びができる事業（プレーパーク）を、地域住民との協働で開催する。また、遊びを見守るプレーリーダーも養成することにより、地域住民独自での開催を目指す。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	開催か所数 常設 1 か所 臨時 8 か所 補助交付団体 4 団体			引き続き地域住民と協働でプレーパークを開催するとともに、プレーリーダーの研修を受けた地域住民が自主的に外遊びに関する事業を実施するためのサポートや、実施する際に補助金を交付する。		
指 標			基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）	
開催か所数			1 2 か所		1 5 か所	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	○

NO. 81 (5-2-2)

事業名	交通安全教室			生活安全課		
事業概要 (目的)	交通安全教室を実施。小学校 4 年生では自転車実技講習を行い、受講者全員に自転車安全運転免許証（セーフティサイクルライセンス）を交付する。幼少期から交通安全に対する意識を高めることによって、将来に渡る交通事故の防止に繋げる。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	【実施実績】 幼稚園・保育所・認定こども園 495 回 小学校 111 回 中学校 13 回 その他 30 回			前年実績同程度の実施を予定。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
			○	○	○	

NO. 82 (5-2-3)

事業名	放課後子ども教室推進事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	次代を担う人材の育成のため、学校・家庭・地域が連携協力し、学校施設や公民館等を活用し、放課後や学校休業日に全ての子どもたちが安全・安心して過ごし、学ぶことができるよう、居場所を整備し、多様な体験・活動の機会を設けて、心豊かな子どもたちの育成を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	24 小学校区で実施			引き続き、未実施学区に対する周知等を行う。		
指 標			基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）	
放課後子ども教室開設か所数			24 か所		24 か所	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

NO. 83 (5-2-4)

事業名	児童館の運営			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	児童福祉法に基づく児童厚生施設。児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、また情操を豊かにすることを目的に、児童館で様々な遊びの活動等を実施					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	23 館 362,630 人が利用			引き続き実施		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

NO. 84 (5-2-5)

事業名	公民館の子ども対象事業			生涯学習課公民館振興室		
事業概要 (目的)	子どもたちの豊かな育ちを支援するため、子どもが様々な体験活動にチャレンジしたり、趣味を楽しむなど、豊かな余暇時間を過ごすための学習機会を提供したり、居場所づくりを進める。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>青少年健全育成の観点から、子どもの居場所づくりとともに、子ども自身が遊びや学びを作り出すような体験型の講座を全館で実施した。特に、長期休暇中には、NPO 法人と連携した子ども対象事業を実施した。</p> <p>154 講座 延べ 28,281 人参加。</p>			<p>子どもたちが主体的に学んで活動できるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流も図る。</p> <p>また、長期休暇だけでなく、放課後の居場所事業等も広げる。</p> <p>中学校、高校の生徒が、地域や社会課題にふれ、主体的に参画する事業や、参画の機会を増やす。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	○

NO. 85 (5-2-6)

事業名	「赤ちゃんの駅」推進事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	施設管理者からの申請により、授乳やおむつ交換ができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録。また、野外イベント等へも乳幼児親子が安心して参加できるよう、イベント主催者に対しテント式の授乳室やおむつ交換台の貸出を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	【登録件数】 186 件 【貸出し件数】 42 件			周知広報を図ることにより、赤ちゃんの駅の登録を増やす。また、現在登録されている所に対しても、変更等が無いかの確認を行う。移動式赤ちゃんの駅についても貸出しを進める。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○				

NO. 86 (5-2-7)

事業名	実践的安全教育総合支援事業			指導課		
事業概要 (目的)	6 年サイクルで岡山市立学校全校に学校安全アドバイザーを派遣する。内容（災害安全、生活安全、交通安全）や形式（職員研修、児童生徒や保護者向けの講義、避難訓練に対する指導助言、危機管理マニュアルに対する指導助言等）は、学校の実情に合わせて行い、児童生徒及び保護者、教職員等の危機管理意識の向上を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 実践的安全教育総合支援事業 緊急地震速報の音源を使用した避難訓練を実施。また、学校施設利用計画作成に向けて危機管理担当者研修会を実施。 学校安全アドバイザー派遣事業 防災に加え、交通安全・生活安全に関するアドバイザーを小中学校 21 校に、学校の要望に合わせた形で派遣し、危機管理 			<ul style="list-style-type: none"> 各学校園が中学校区間で連携を図りながら危機管理マニュアルや避難訓練、交通安全教育や防犯教育等をより実践的なものにする。また、学校安全計画改善に向けて危機管理担当者連絡協議会を実施する。 防災に加え、交通安全・生活安全に関するアドバイザーを中学校区に、学校の要望に合わせた 		

	マニュアルの見直し、避難訓練に対する指導助言等を行った。			形で派遣し、危機管理マニュアルの見直し、避難訓練に対する指導助言等を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

(3) 確かな学びと豊かな育ちの支援

確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」の調和がとれ、社会の中で自己実現できる「自立する子ども」を育むため、中学校区単位での一貫した学びによる学力の向上を目指すとともに、思いやりの心や規範意識、向上心を持った子どもの育成等を進めます。

NO. 87 (5-3-1)

事業名	学力向上推進プロジェクト			指導課		
事業概要 (目的)	全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題の解決に向けて、就学前教育から中等教育までの学びを連続させる一貫教育を中学校区で推進するとともに、授業改善に向けた取組を行う。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ○岡山市学力アセスの実施 ○子どもが輝く学びづくりプロジェクトの実施（48校園で公開保育・授業） ○「授業これだけは！」の取組の推進 ○学力向上プロジェクトの実施（夏季・秋季講座に延べ65名が参加） ○自主学習ソフトを全中学校に導入 			<ul style="list-style-type: none"> ○岡山市学力アセスの実施 ○子どもが輝く学びづくりプロジェクトの実施 ○「授業これだけは！Vol.2」の取組の推進 ○学力向上プロジェクトの実施 ○学習支援ソフトを全小・中学校に導入 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
			○	○	○	

NO. 88 (5-3-2)

事業名	習熟度別サポート事業			教職員課		
事業概要 (目的)	基礎・基本の確実な定着を目指し、小学校 2～6 年生の授業において、10 人未満の小集団による習熟度別授業や放課後学習指導を行うことで、児童一人一人の学力向上を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	小集団で習熟度別に授業を行うことで、個に応じた指導をすることができた。			実施要項の配置基準に沿って、配置人数を決定していく。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

NO. 89 (5-3-3)

事業名	子ども読書活動の推進			中央図書館		
事業概要 (目的)	「岡山市子ども読書活動推進計画」に基づき、社会全体で子どもの読書活動を推進する環境をつくり、岡山市の未来を担う子どもたちが、読書を通じて自ら学び、自ら考えることができる人間として成長していけるようにすることを目指す。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん絵本読み聞かせ体験（全体） ：129 回実施・5,036 人参加 ・ボランティア活動紹介業務（事務局）：9 件 ・児童書蔵書冊数（図書館）：432,122 冊 ・子どもの行事参加人数（図書館）：8,567 人 			「岡山市子ども読書活動推進計画」における、現状にそぐわない数値の置き換え、文言の見直しを検討。 関係各課の取組については継続実施。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

NO. 90 (5-3-4)

事業名	心豊かな子どもの育成事業			指導課		
事業概要 (目的)	子どもたちの道徳性を養い、思いやりの心や規範意識、向上心をもった岡山っ子を育成するため、自分の生き方を見つめ直す機会や、体験活動の機会をつくる。また、道徳科の授業力の向上を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ○研究協議会の実施(130名参加) ○あの人の生き方に学ぶ講演会 (9校に講師を派遣) ○道徳授業のプロデューサー事業 (11校で実施) ○芸術体験活動 (56校 約 3,700名参加) 			<ul style="list-style-type: none"> ○研究協議会の実施 ○あの人の生き方に学ぶ講演会 ○道徳授業のプロデューサー事業 ○芸術体験活動 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 91 (5-3-5)

事業名	共に成長し合う学級集団づくり推進事業			指導課		
事業概要 (目的)	市内小中学校に在籍する小学校 2 年生以上の全ての児童生徒に対して、質問紙調査（小学校では主に hyper-QU、中学校では ASSESS）を活用し、子どもたちの学校生活の適応感を高め、望ましい学級集団づくりを進めることで、不登校やいじめ、集団不適應等の未然防止や早期発見に取り組む。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>質問紙調査「hyper-QU」「ASSESS」を全ての小・中学校で実施し、児童生徒の学校適応感を測り、その結果を活用して児童生徒理解を深め、問題行動等の未然防止・早期対応を基本とした学級集団づくりの充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全小中学生対象（ただし小学校は 2 年生以上）に年間 3 回実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> H26 年度から全校実施としており、教職員による見とりと質問紙調査の結果を合わせることで、学級集団づくりへの活用が進んでいる。しかし、学校によって活用に差が見られるので、効果的な活用の紹介などを通して、岡山市全体としての活用や深化を図りたい。 <p><令和 2 年度に生徒指導関係事業に統合の予定></p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 92 (5-3-6)

事業名	男女平等教育の推進			指導課		
事業概要 (目的)	教職員の男女共同参画に関する理解の促進及び小学校、中学校における男女平等教育（性の多様性を含む）の推進を目指す。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画をテーマにした中学校区・校内研修（性の多様性は含まない）を実施した。 ・中学校区研修…1 中学校区 105 人 ・校内研修…5 校 140 人 ○小学校、中学校における男女平等教育に関する指導を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画をテーマにした中学校区・校内研修を実施する。 ○小学校、中学校における男女平等教育に関する指導を行う。 		

	<ul style="list-style-type: none"> 指導が行われている小、中学校の校数、男女混合名簿を使用している小、中学校の校数について、アンケート調査にて調査。 					
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 93 (5-3-7)

事業名	学校給食の充実			保健体育課		
事業概要 (目的)	<p>学校給食を通して、子どもが生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基盤を培い、食の自己管理ができ、健全な食生活を実践する力を身に付けることができるようにする。安全管理・衛生管理の徹底、給食運営の見直し等により、安全でおいしい学校給食を提供する。</p>					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>学校給食を通して、子どもが生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎を培い、食の自己管理ができ、健全な食生活を実践する力を身に付けることができるようにする。安全管理・衛生管理の徹底、給食運営の見直し等により、安全でおいしい学校給食を提供した。</p>			<p>学校給食を通して、子どもが生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎を培い、食の自己管理ができ、健全な食生活を実践する力を身に付けることができるようにする。安全管理・衛生管理の徹底、給食運営の見直し等により、安全でおいしい学校給食を提供する。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○(中学生のみ)	

NO. 94 (5-3-8)

事業名	教職員研修の充実			教育研究研修センター		
事業概要 (目的)	採用時から一貫したキャリアステージに合わせた岡山市ならではの教職員研修を開発・実施し、教職員の資質能力の向上及び指導力の向上を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>経験年数別研修（初任者、15 年経験者等）、若手教師フォローアップ研修（小・中学校別各教科・領域）、職能研修（管理職研修、学校事務職員研修等）、教科領域等研修（小・中学校別各教科・領域等）、教育課題等研修（生徒指導研修、特別支援教育研修等）を実施。</p>			<p>経験年数別研修（初任者研修、15 年経験者研修等）、職能研修（管理職研修、学校事務職員研修等）、教科領域等研修【授業づくりの基礎】・【授業づくりの応用】（小・中学校別各教科・領域等）、教育課題等研修（生徒指導研修、特別支援教育研修、ICT 研修等）を実施。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

(4) 生活や学習の基盤づくり

食育の推進等を通じて食習慣や健康・体力づくりへの関心を高め、生活や学習の基盤づくりを行います。

NO. 95 (5-4-1)

事業名		食育の推進			保健管理課	
事業概要 (目的)		<p>本市では、平成 21 年 3 月策定の「岡山市食育推進計画」、平成 25 年 3 月策定の「岡山市食育推進計画（第 2 次）」を経て、平成 30 年 3 月に「岡山市食育推進計画（第 3 次）」を策定した。</p> <p>学齢期の食育においては、児童生徒が日々生き生きと活動し生涯を健康に過ごせるよう、自己管理能力を育成するとともに、発達段階に応じて、食に関する知識と食を選択する力を身につけることができるよう指導の充実を図る。</p>				
内容		実績（平成 30 年度）		計画内容（具体的な取組み）		
		朝食を毎日食べる児童生徒の割合 82.2%		<ul style="list-style-type: none"> ・スクールランチセミナーの実施 ・朝食の指導 		
		指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値
		朝食を毎日食べる児童生徒の割合		82.2%		100%（令和 4 年度）
対象ライフ ステージ		妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生
					○	○(中学生)

(5) 子どもの自主活動への支援

子どもの自主性をのばすため、自然体験活動や、ジュニアリーダー等の養成を行います。

NO. 96 (5-5-1)

事業名	子ども体験活動推進事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	ボランティア体験や集団宿泊研修等の活動を通して、自然の偉大さや美しさを感じさせるとともに、子どもたちが他者との関わりの中で心身ともにたくましく生きる力を育てる。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	①わくわく子どもまつり 中学生ボランティア参加者 72 名 ②わくわく犬島探検隊 台風のため中止			引き続き、ボランティア活動・集団宿泊研修を通じて、子どもたちが他者とのかかわりの中で、心身ともにたくましく生きる力を育てる。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 97 (再掲) (5-5-2)

事業名	地域子ども組織の育成	NO. 78 参照
-----	------------	-----------

(6) 地域に関かれ信頼される学校園づくり

地域、保護者と学校の連携による教育活動の活性化や、子どもの地域活動への参加を推進します。

〔評価指標〕 学校からの情報提供に関する保護者の満足度の向上

平成 30 年度 86.2 % → 令和 6 年度 90 %

「岡山市教育に関する総合調査」

NO. 98 (5-6-1)

事業名	地域協働学校の推進			指導課		
事業概要 (目的)	<p>学校運営協議会制度を導入した学校を岡山市では地域協働学校という。それぞれの学校園の学校運営協議会が活性化することで、学校、家庭、地域がそれぞれ協働してその実現へ向けて効果的に取り組めるよう支援する。</p> <p>学校、家庭、地域の代表者が一堂に会して行う研修会を毎年実施し、各地域での持続的な取組の実践等の情報交換や協議を行うことで、学校運営協議会の活性化を図り、その理念の実現を目指す。</p>					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ○評議員及び教職員を対象に、学校運営協議会制度の導入に関する研修会を開催 ○地域と学校の協働フォーラムを開催（約 300 名が参加） ○2 中学校区（12 校園）が地域協働学校を設置 			<ul style="list-style-type: none"> ○地域と学校の協働フォーラムを開催 ○各校園の学校運営協議会の活性化を支援 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

NO. 99 (5-6-2)

事業名	☆ 地域と学校協働活動推進事業			生涯学習課		
事業概要 (目的)	幅広い地域住民、団体の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」を推進する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>平成 30 年度は 15 団体 53 学校園で実施。地域学校協働活動推進員 42 名に委嘱を行った。</p> <p>地域学校協働活動においては、人材確保が課題であり、リーフレットを配布する等の周知を行った。また、地域の方々の参画の輪を広げていく必要があるため、「地域と学校の協働フォーラム」を実施し、事業の周知と地域学校協働活動推進員、地域住民、学校園関係者との交流促進を図った。</p>			<p>事業成果、成功事例を紹介する等により、未実施の学校園への理解を求め、事業実施校園数の増加を目指す。</p> <p>また、事業への理解を深め、地域学校協働活動推進員の資質向上を図るため、説明会や研修会の積極的な開催に取り組む。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

NO. 100 (5-6-3)

事業名	学校支援ボランティア事業			生涯学習課		
事業概要 (目的)	<p>学校園や地域での教育活動や環境整備などの取組に対して、学生や保護者、地域住民の様々な特技や趣味などを活かして支援する。 地域住民や学生等が学校園へ入ることにより、学校教育・地域の活性化を図り、ボランティア活動を通じた生涯学習社会の構築を推進する。</p>					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> • 平成 30 年度ボランティア登録者数 7,388 名 （一般：4,599 名、学生：2,789 名） • 学生をグループ化して放課後学習会の活動支援を行うモデル事業（学習活動サポーターズ）を 1 小学校と 2 中学校で実施。 			<ul style="list-style-type: none"> • 地域住民や学生等が学校支援ボランティアとして様々な特技等を活かして行う教育活動への支援 • 平成 28 年度から平成 30 年度において実施したモデル事業を令和元年度から「放課後学習サポーターズ」として事業化。 グループ化による学生同士の連携を活かした放課後学習会への支援の実施 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

柱6 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

(1) 子ども虐待の防止と子どもと家庭の支援

子どもの安全を最優先に考え、子どもを虐待から守る取り組みを全力で進めるとともに、虐待を未然に防ぐために子育て家庭への支援を行います。

また、市及び関係機関等が連携し、虐待を見逃さず全ての子どもの安全と健やかな成長が守られる社会づくりを推進します。

※詳細は第5章参照

〔評価指標〕 子ども家庭総合支援拠点の設置数

平成30年度 0か所 → 令和6年度 6か所

NO. 101 (再掲) (6-1-1)

事業名	こんにちは赤ちゃん事業	NO. 27 参照
-----	-------------	-----------

NO. 102 (再掲) (6-1-2)

事業名	おかやま産前産後相談ステーション事業	NO. 26 参照
-----	--------------------	-----------

NO. 103 (6-1-3)

事業名	☆ 子ども家庭総合支援拠点の設置				こども福祉課	
事業概要 (目的)	子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、相談全般から継続的なソーシャルワークを行う拠点の整備を行うもの。					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	/			地域こども相談センターを改組し、相談全般から在宅支援を中心とした継続的なソーシャルワークを行う機能を担う拠点を整備する。		
指 標		基準値(平成30年度)		目標値(令和6年度)		
子ども家庭総合支援拠点の設置数		—		6か所		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	

NO. 104 (6-1-4)

事業名	子ども虐待防止の充実			こども福祉課		
事業概要 (目的)	子ども虐待の未然防止や早期発見、早期支援のため関係機関等との連携を強化し、子ども虐待防止対策の充実を図る。また、子ども虐待防止啓発のためオレンジリボンキャンペーンを推進する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	オレンジリボンキャンペーンは実行委員会で活動を推進している。			関係機関との連携、子ども虐待防止への地域の意識づくり、相談体制の周知・啓発を図る。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	

NO. 105 (6-1-5)

事業名	要保護児童対策（地域こども相談センター）			こども福祉課		
事業概要 (目的)	要保護児童対策地域協議会で、関係機関や関係団体等の連携・協力の確保を円滑に実施しながら、虐待を受けているなど支援が必要な要保護児童等の早期発見及び適切な保護・支援を図る。地域こども相談センターでは身近な相談機関として子どもや家庭に関する多様な相談に応じる。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	虐待通告受理件数 1,096 件 虐待相談件数 376 件			相談体制の充実（資質の向上・適正な人員配置）を図る。 子ども家庭総合支援拠点設置に向けて体制強化を図る。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
	○	○	○	○	○	